

古楽ワークショップのご案内

講師：鷺見明香（バロックヴァイオリン）、上田朝子（リュート・テオルボ）

日時：2023年8月7日（月）13時～21時

一枠 50分（各枠間に10分の休憩を挟みます。）

場所：Space415

バロック音楽と一言にいても17世紀初期から中・後期、18世紀も等しく、時代背景や楽器の変化に伴い奏法、装飾法、通奏低音へのアプローチも少しずつ異なります。

このワークショップでは時代・国に合った装飾法・奏法の選択からアンサンブルの組み立て方まで演奏家の皆様の様々な疑問に寄り添ってレッスンしていきます。

対象：ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リコーダーその他の旋律楽器及びテオルボ、リュート、チェンバロなどの通奏低音楽器の演奏家の方。

*モダン楽器でも構いませんが、講師・上田の伴奏をご希望の場合ピッチはA-415hzとなりますのでご了承ください。

レパートリー：17世紀～18世紀中期の作品。今回の公演*にまつわるイタリアとイギリスでの出版作品は特に歓迎いたします。曲は事前にご相談ください。

受講料

個人レッスン 8000円

旋律楽器の方は講師・上田による伴奏付き、また通奏低音レッスンをご希望の方は講師・鷺見が旋律を担当いたします。

アンサンブルレッスン 一人当たり 5000円（デュオ 10000円、トリオ 15000円）

お申込み・お問い合わせは asukasumi@gmail.com までご連絡ください。

Space415のアクセス：中野区新井2-48-12（JR中野駅北口より徒歩12分、西武新宿線野方駅よりバスで5分）

*鷺見、上田は8月11日（金）15時今井館講堂「イタリアへの憧憬～18世紀ロンドンのイタリア趣味」に出演予定。公演詳細は [こちら](#) をご参照ください。

講師プロフィール

鷺見明香 バロック・ヴァイオリン

東京藝術大学古楽科卒業及び大学院修了。アムステルダム音楽院古楽科マスターディプロマ取得。国際 H.I.F.ビバーコンクールにて第2位を受賞し、ウィーン・コンツェルトハウスにてデビューリサイタルを行う。プレミオ・ボンポルティ、ヨーク古楽コンクールファイナリスト。イベリアン・バロックを演奏するセコンダ・プラティカ（CD『Nova Europa』）の結成メンバーとして欧州各地の主要音楽祭に出演し、2018年には来日公演が好評を博した。英国に移住後は、イングリッシュ・コンサートやガブリエリ・コンソート等の名門オケのメンバーとして活躍する傍ら、リーズ・バロック、ロンドン・オペラ・カンパニー、ケンブリッジ・ヘンデル・オペラ等でリーダーを務める。またヨーク大学やリーズ大学に講師として招かれるなど後進の指導にも力を入れている。特に17世紀オーストリア・北イタリアにおけるヴァイオリン技巧の発展、コレリ楽派の恣意的装飾などの研究に力を入れている。

上田朝子 テオルゴ、リュート

4歳より音楽を学び始め、桐朋学園大学ヴァイオリン科を卒業、同大学作曲科修了。オランダ、ハーグ王立音楽院学部リュート科を最高得点古楽科主席で卒業し同音楽院修士課程を優秀賞付きで修了。バーゼル・スコラ・カントルム中世・ルネサンス科修士課程修了。リュートを故・金子浩、マイク・フェントロス、ヨアヒム・ヘルトの各氏、バロック・ヴァイオリンをエンリコ・ガッティ氏に師事。ビアージョ・マリーニ古楽コンクール第1位、ファン・ヴァセナール古楽コンクール第3位、ロンドン国際古楽コンクール第2位受賞。ヴァイオリンと作曲を勉強した経験を活かし、通奏低音とルネサンス期の編曲技法の研究、実践に注力している。